

令和4年度 広島市まちづくり市民交流プラザ 第3回運営委員会 会議録

日 時 令和5年3月2日(木) 14時00分～16時00分

場 所 合人社ウエンディひと・まちプラザ(まちづくり市民交流プラザ)

北棟6階 マルチメディアスタジオ

出席者 (委員) 脇谷委員長、阿部副委員長、服部委員、木谷委員

(プラザ) 横町館長、三次主任

報告

議事1. 令和4年度事業進捗状況

事務局から、12月から2月に実施した事業(企業等社会貢献活動推進事業、人材バンク発表会、市民活動団体等成果発表事業、なかちゃん音楽の輪まちかどコンサート、市民活動人材育成講座、PC ボランティアスキルアップ講座、市民活動・ボランティア体験講座)について報告し、意見が交わされた。

・なかちゃん音楽の輪まちかどコンサートをスタジオで実施する場合は、スタジオの正面に暗幕が引けるようになっているためそれを活用するのいいと思いました。文化の発表会を行う際、発表会の看板は必要な場合もありますが、コンサート会場のステージ背面(スクリーン)に発表者の紹介のための映像は無くてもいいように思います。背面の映像がなければ、ステージの演奏者は引き立ち、観客にとってより見やすくなりますし、観客も奏者に集中しやすくなります。更に、紹介映像の代わりに暗幕を引くとよいと思いました。ステージにある暗幕は、ステージに立つ人を浮き上がらせるために設置されています。黒い背景があれば、出演者の演出によってどんな表現も可能になります。また、ステージ装花も観客の視線が散るので不要だと思いました。出演者の考えもあるので、花の位置や背景なども含めて出演者に相談したり、観客の視線で舞台設営を工夫したり、文化はみんなで作っていくのいいと思います。

目的は、美しい音楽を聞き、感動して、文化を育てる。そこにプラザの提供する市民の憩いがあるのではと思いました。

・スクリーンに映し出されている画面は(講師が用意したものではなく)プラザが作ったものであれば、出演者の意向を聞いて作られたらいいかもしれませんね。

○装花は「なかちゃん音楽の輪*」として準備しているものなので花を無くすことはできないのですが、奏者と相談して奏者の邪魔にならない、例えば会場の入り口などに設置するなどの工夫をしたいと思います。

*なかちゃん音楽の輪は「花と緑」と「音楽」の連携をテーマにした中区役所の事業にプラザが共催しているもの。

・装花もいいけれど、花を背景として使うのではなく、例えばコンサートが終わった後に演奏者に花束をプレゼントしてはいかがでしょうか。演奏会の後に奏者に花束を贈呈することはよくある光景なので不自然ではないと思います。

○事業担当者と相談して花の活用方法を検討したいと思います。

・事業に参加された方から、感想やアンケートなどは収集されているのでしょうか。

○コンサートなどアンケートを取っていない事業もありますが、講座的な事業は参加者にアンケートをお願いしています。アンケート結果は職員へのフィードバックのほか市へ報告していますが、一般には公開していません。運営委員会でも事業報告に合わせて参加された方の感想も報告できればと思います。

・運営委員会のためにまとめたり等の手間をかける必要はないと思いますが、出演されたり講師をされた方に参加者の声が届けば、今後の実施方法などを見直すよいヒントになったり、次回への励みにもなるのではないかと思います。無理が無い範囲でやってみてください。

・企業等社会貢献活動推進事業の男子駅伝での清掃活動ですが、他にも清掃活動はあるのでしょうか。

○この研究会で取組んでいるのは男子駅伝だけですが、各企業さんは独自に清掃活動を実施されています。例会では「浜辺を掃除しました」など様々な場所で実施されている清掃活動の報告をいただいています。

・以前も、企業等社会貢献活動を今後どうしていくのか、中身を深めていくのか、輪を広げていくのか。このような研究会があること、企業の社会貢献活動について、運営委員会で報告を聞いて「活動されているんだな。」と知るだけではもったいないなど、もっと取り組みについて知られてもいい事業ではないかと思います。企業が取り組まれている社会貢献活動をもっと一般の方に知ってもらう広報ができないものかと思います。プラザで行っているこの研究会についても報道などで見かけることが無いのですが、例えばプレスリリースなどの広報ができないものでしょうか。

○3月の社貢研主催のセミナーも毎年記者クラブにチラシを投げ込むのですが、記者からの問い合わせはありませんでした。例会でも社会貢献活動のPR方法について課題に上がります。市民活動であれば取り上げられることでも、企業の取り組みとなるとメディアに取り上げられにくいという現状があります。一企業が単独で社会貢献をしているのをメディアで取り上げるのは、不公平な取扱いになりかねないところがあるようで、例えば、企業と地域が一緒になって何かに取り組むなど、取り上げやすくなる内容というのがあるようです。

大々的な広報は無理でも、例えば、年末の愛のカレンダー大作戦の際には、南棟1階のロビーの一部をパーテーションで囲んで封鎖するため、そのパーテーションを利用して来館者へ社貢研の取り組みをお知らせするポスターの掲示ができたらいいいのでは…など、知っていただくための方法を模索している状況です。

・一企業では広報しにくいというのであれば、プラザが接着剤のような役割で世間に繋がれるような役割を果たしていただきたい。市民のみなさんへの認識が広がれば、企業さんにとっても「よかったね！」と活動が認められる喜びになるかと思います。ぜひ、次年度に向けては「発信」「広め

る」というところをお願いしたいと思います。

・企業の中にボランティア組織を持たれている場合もあり、市社会福祉協議会にボランティアをやりたいとの相談があった際には、平和記念公園の清掃活動を紹介しています。この清掃活動は定期的に実施されておりボランティアも広く受け入れている、ということで参加しやすい活動になっています。

今年の男子駅伝清掃の参加団体が少なかったと報告がありましたが、市社教にも企業さんから「駅伝に参加したいけれどコロナの感染者が増加している状況なので、社内会議でこの度の参加は見送ろうということになりました。」という話が入っていました。

議事 2 令和5年度事業計画について

事務局から、令和5年度の事業について説明し、意見が交わされた。

・人材バンクは新型コロナ対策として人の密度を避けるためにスタジオで実施していましたが、来年度は実施場所をスタジオから南棟1階ロビーに戻そうという話が出ています。3年の間に担当職員も代わり、コロナ前の実施状況が分からなくなっていると思うので、活性化委員に確認しながら会場の設営や司会の分担などを行えば大丈夫だと思います。

・講座の参加者は、学習後に学んだ成果を活用できる「動く場」がないように思いました。公民館の場合は、そのまま学習グループに移行することもあります。プラザの場合はなかなかそのような展開がありません。もしかすると、プラザで学んだあと公民館等でグループ活動を行っているのかもしれないのですが、プラザでグループ活動を継続しようとしても、公民館に比べて部屋代が高いので継続できない一因になっているのではないかと思います。プラザ主催でできたグループ活動への支援はないのでしょうか。

○プラザでは公民館のような登録グループ活動というのは無く、それに似たようなものとしては人材バンクの活動のみです。ご指摘があったように、その部分が公民館とは違う支援の仕方を行っている部分です。

・とあるボランティア会議に参加したとき、小学生の手話教室の話を知りました。手話を教えてもらったあと、小学校を卒業するまで手話サークルに所属していたというもので、研修を受けた後に継続できる場所がある大切さを感じました。プラザの事業の報告や計画を聞いて、さまざまな事業があるのはいいと思うのですが、学習を継続して支援できるシステムがあればいいと感じました。

○「はじめての市民活動・ボランティア体験講座」は、ボランティア団体に講師をお願いしており、ボランティアの体験と学習を終えた参加者のうち希望者には団体に加入することを勧めています。参加者の活動場所の提供と団体活動の支援が目的の事業です。また、パソコン相談会のための個人ボランティア登録制度も行っており、年に1回ボランティア養成講座も行って、学習と活動の場の提供を行っています。また、フェスタなどを盛り上げてもらうプラザの施設ボランティアの育成を試みているのですが、応募が少なく実施に苦戦しているところです。

学習グループにプラザの有料部屋を安く利用してもらうことはできませんが、南棟の2・3階には、

利用の条件を満たす生涯学習や市民活動団体に無料でスペースを提供するという支援もしています。フリースペースの利用団体のフェスタ参加が非常に少ないのは残念ですが、ボランティアや市民活動の在り方・求めているものは様々なので、その人、その団体に合ったプラザのサービスを利用していただけたらと思っています。

・グループさんは上手にプラザを利用されると思います。例えば、本来は別に活動拠点がある団体もプラザのフリースペースを利用されているのを見たことがあります。話を聞くと、プラザは集うのに立地が良いため、必要に応じてプラザのフリースペースやロッカーを利用しているとのことでした。グループさんはさまざまな場所を上手に活用されているなと思いました。

・人材育成講座がフェスタの実行委員会の運営に繋がらないかと思ったのですがいかがでしょうか。また、まちづくり企画・運営ボランティア養成講座が11月実施予定になっていますが、フェスタに関連させるなら、実行委員会前（夏頃）に講座を実施して、その人たちがフェスタの実行委員会にも参加する流れができればいいのではと感じました。ちなみに、今年度はボランティア体験講座は実施されたのでしょうか。

○ボランティア養成講座は、フェスタの直前にボランティア研修会とバルーン研修会を実施して、フェスタの当日運営ボランティアとして本番を迎えるという流れでした。フェスタの当日運営ボランティアは参加が簡単なのでボランティアも学生も集まりやすいのですが、企画ボランティアとなるとハードルが高くなるのか、募集しても応募が1～2名と講座が成立せずに苦戦してしまいます。講座の中で技術を高めながらフェスタに参画するのは参加しにくいのかなと感じています。

・一人でも参加があるというのは大切だと思います。学生ボランティアの中には就職活動や単位拾得を目的にしている場合もありますが、たくさんあつまるボランティアの中から、一人でも二人でも企画に関わってみたいと思う人が現れたらいいのではと思います。声掛けをして繋がりを作って行くのも1つの方法ではないでしょうか。そういった仕掛けを続けていって欲しいと思います。例えば、今年度バルーンでたくさんのボランティアが集まったのであれば、来年度の実行委員会までにもう一度その人たちに声をかけてみる。そういう働きかけが必要ではないでしょうか。そうなれば、ボランティア養成講座も実施時期が決まってくるのではと思いました。

・さまざまな委員会に参加するとき、組織の運営をうまく回すために組織図を見せてもらっています。組織をうまく回すためには職員の生活がうまく回ってるかが大切だと思います。それを考慮するとプラザは休館日が月に1回しかなく、長期・安定的な運営をするためには休みを定期的にとる必要があるのではと感じます。施設の管理や修繕も月1回の休みで行うには少ないように思います。休みが無く開館時間が長い施設を職員が回していくだけでも大変で、さらに事業をとなると余裕がないのではないかと想像します。忙しさが続くと、事業も前年度と同じものをしてはどうかとなってしまうので、余裕を持ってメリハリのある運営が必要ではないかと思っています。

○プラザは勤務上職員同士がすれ違うことも多く、事業を全て把握するのも難しい施設ではあるため、職員同士が情報交換しあい相談しあって事業を進めるようにしておりますが、団体やボランティアさんに助けてもらうことで事業を実施できていることを感じています。

・運営委員会にも他の職員が参加して、担当の事業を発表されてはどうかと思っていましたが、無理のない範囲で検討いただけたらと思います。

・「生涯学習成果発表事業」では、公民館の学習グループの発表というのはどのような状況でしょうか。公民館もいい活動をされていますが、広く知られていないのではと感じています。公民館での活動をプラザで発表できればもっと広がりもできるでしょうし、活動の支援にもなると思います。プラザと公民館の連携が深められ成果が共有されたら、お互いに良い関係になるのではないかと思います。

・コロナの影響もだいぶ薄らいできていることもあり、来年度以降は事業をより深めていただけたらと思います。

閉会